

新たな年を迎えました。この時期は、これから始まる一年を展望しながら、夢を描いたり、目標を決めたりするものです。この絶好の機会を子どもたちにも大切にさせたいと思います。この際、夢を大きく持つことを奨励します。夢は目標であり、その夢を実現させるためには努力が必要です。夢が大きければ大きいほど、その実現に必要なエネルギーも大きくなります。子ども達が自分の夢を実現させるエネルギーは成長に好ましい影響を及ぼします。子ども達の夢が大きく膨らむ学校であるよう学校運営を進めてまいりますので引き続きのご支援、ご協力をお願いします。



自分で決めた目標に向かって「心のスイッチ」をON!

子ども達に「心のスイッチ」という詩を紹介したことがあります。その詩は但馬の教育者 東井義雄(とおいしお)氏のもので。この詩にふれると、教員になった頃に先輩教員が語ってくれた東井先生の話思い出します。

子ども達にも、電球が光を放つように自分の心のスイッチをONにしてほしいと話しています。見ようとする心のスイッチを入れなければ、見ることはできません。聞こうとする心のスイッチを入れなければ、聞くこともできません。勉強だってそうです。目標を決めるだけではダメなのです。大切なことは、心のスイッチを入れるか、入れないかです。心のスイッチは誰もが持っています。それをONにするのは自分です。これから始まる一年、授業でも、行事でも、日々の生活でも、子ども達の心のスイッチが入る瞬間を見つめていきます。

「心のスイッチ」 東井義雄
人間の目は ふしぎな 目
見ようという心がなかったら 見ている 見えない
人間の耳はふしぎな耳
聞こうという心がなかったら 聞いている 聞こえない
頭も そうだ
はじめから よい頭 わるい頭の 区別が あるのではないようだ
「よし、やるぞ!」と
心のスイッチが入ると
頭も 素晴らしいはたらきを始める
心のスイッチが 人間を つまらなくもし すばらしくも していく
電灯のスイッチが 家の中を明るくし 暗くもするように

感謝の気持ちをのせて～「ラッピングバス」への参加～

昨年12月、6年生が神姫バスの創立95周年事業「ラッピングバス」企画に参加し、高速バスに三田の魅力を表現しました。大きな車体に、黄金色の稲穂、川で遊ぶカワセミ、毎年学校で巣を作るツバメなど、遠くには有馬富士を描きました。

藍小学校には路線バスを使って登下校する子が多くいます。入学当時は大きなランドセルを背負い不安な気持ちでバスに乗車していたことでしょう。バスの中で騒いで乗務員さんに注意されたこと、座席で眠ってしまって起こされたことなど、6年生にはバスでの思い出がたくさんあったことでしょう。バス通学でない児童にとっても藍小ではバスは身近な存在です。感謝の気持ちをのせたバスは、3月まで神戸や大阪と三田を結ぶ路線で運行されます。



令和4年度全国学力・学習状況調査 三田市の結果概要

令和4年4月19日(火)に6年生を対象にして「全国学力・学習状況調査」が実施されました。今年も、国語・算数・理科と学習意欲、学習方法、生活面等に関する質問紙調査が実施されました。

三田市の子どもの学力の定着状況については、全国・兵庫県の状況を踏まえ三田市の現状を分析したところ、結果は「良好」でした。今回の結果分析を基に、教科別での本市の傾向と学びのポイントや三田の子どもの学習や生活に対する意識・実態についてなどをまとめた冊子を三田市教育委員会ホームページで公開しています。



藍っ子の学習や生活に対する意識・実態について～質問紙調査から～

<特徴的な成果や課題> ○成果 ●課題 ◆取組の方針

- 「将来の夢や目標を持っている」、「自分でやると決めたことはやり遂げようとしている」、「自分には、よいところがあると思う」、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」の質問から、夢や目標を持ちながら自己肯定感が高い児童が多い。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」、「人が困っているときは、進んで助けている」、「人の役に立つ人間になりたいと思う」の質問から豊かな心が育っている。また「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」、「学校に行くのは楽しいと思う」、「友達と協力するのは楽しいと思う」児童が多い。
- 「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」、「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使用した」の質問から授業中のICT活用が進んできている。
- 「平日1日当たりのゲーム時間」は、2時間以上が約50%、4時間以上が約30%を占め、一方で、「家で自分で計画を立てて勉強している」は約40%、「平日、休日ともに授業以外の学習時間」が1時間未満の児童が約70%であることから、家庭学習を計画的に行うことができていない状況がうかがわれる。
- 「今住んでいる地域行事に参加している」児童は約70%であるが、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」児童は約20%である。

<課題に対する取組について>

- ◆改めて「藍小学校 家庭学習の手引き」を用い、5,6年生では藍っ子スタンダードである60分以上の学習時間を行うことを目標として進められるように、家庭学習の進め方の評価・改善を進めていき、低・中学年でも計画性を身に付け、自ら学習を調節しようとする態度を育成する取組を進めていく。
- ◆特別の教科道徳の「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の内容や、総合的な学習の時間、社会科、生活科と関連を図りながら、自分の住んでいる地域への関心を深めて、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせる学習活動へと発展させる取組を進めていく。

《1月の主な行事予定》【11月～3月 ホームタイム 16:30】

10	火	3学期始業式【一斉終会11:15】	18	水	放課後あいつ子教室(1,2年)
11	水	短縮授業【一斉終会11:15】	19	木	情報モラル学習会(PM)
12	木	給食開始 身体測定(4,5,6年) 【一斉終会14:50】	20	金	藍中学校入学説明会(6年)
13	金	身体測定(1,2,3年)【一斉終会14:50】	24	火	3年生環境体験学習(予備日31日)
17	火	避難訓練 委員会活動(5,6年)	27	金	藍小委員会

